

尾西信用金庫の環境への取組みについて

当金庫では、環境保全活動基本方針を策定し、店舗周辺の清掃活動のほか、地域の環境活動への参画や省エネセミナーの開催など、地域環境の保全に当金庫で行う取組みだけでなく、地域の皆様方とともに地域環境の保全に取り組んでいきます。

【環境保全活動基本方針】

当金庫は、「地域社会の発展に貢献する」ことを経営理念としており、企業市民として郷土の豊かな潤いある自然環境を守り、より良く次の世代へと引き継いでいく責任がある。環境保全活動(環境問題への取組み)の実施にあたり、下記の基本方針を定め、金庫の社会的責任、公共的使命を果たすため、積極的に取り組みすることとする。

- (1) 省エネルギー、省資源、リサイクル活動を推進する。
- (2) 地域金融機関として、環境に配慮した商品・サービスの開発を通じて、環境保全に取り組む取引先を支援し、地域社会の環境保全に努める。
- (3) 地域における河川等の清掃活動など、地域資源の保全等による地域貢献活動に取り組むほか、地域の様々な主体と連携して環境保全に貢献する。
- (4) 環境問題に関する役職員の理解促進に努める。
- (5) 環境に関する法令や自治体条例、信用金庫業界の行動指針等を遵守する。
- (6) 環境保全活動(環境問題への取組み)について、ディスクロージャー誌やホームページ等を通じて情報開示する。

【環境配慮型店舗の導入】

平成23年3月に新築移転した祖父江支店では、LED照明(外灯、ATMコーナーに採用)、高効率照明、センサー感知式照明器具、節水型トイレ等の環境・省エネルギーに配慮した設備を採用しています。また、駐車場舗装面を緑化舗装しヒートアイランド現象の緩和を図っています。



平成23年12月に本店(本部)西側に新設した「尾西信用金庫事務センター」では、電力消費抑制のため、屋上に太陽光発電パネルを設置し、照明器具にはLED+昼光・人感センサーによる調光システムを導入し、外灯には、自然エネ

ルギーを利用した蓄電池組み込みの自立独立型 LED 照明灯を設置しています。

また、空調には、省エネ性の高い地中熱利用ヒートポンプにより冷温水を床放射冷暖房システムへ供給しています。



水資源の有効利用を図るために井戸水や雨水をトイレ洗浄水に利用しています。

駐車場では、舗装面を緑化舗装しています。

1階ギャラリーには、太陽光発電等環境への取組みが一目でわかるモニターを設置し、訪れる方へ省エネの呼びかけを行っています。

「尾西信用金庫事務センター」は、国土交通省「平成22年度第2回住宅・建築物省CO2先導事業」の建築物（非住宅）中小規模建築物部門の採択を受けました。

平成27年11月に新築移転した萩原支店においては、照明設備にLED照明を採用し人感センサー、タイマー制御などの照明制御システムの導入を行い、太陽光発電と蓄電池を併用した交流変換なしの高効率直流LED照明システムの採用を致しました。



【電力デマンド監視装置の設置】

本部及び支店の約半数にて「電力デマンド監視装置」を導入しています。使用電力量を可視化し、不必要な電力の削減を務めるとともに、職員の省エネ意識を高めています。

【電動アシスト自転車の導入】

CO2削減を目的に、支店に配備されている原動機付自転車を一部電動アシスト付自転車に変更しました。

【省エネセミナーの開催】

当地域の事業者を対象に、一般社団法人省エネルギーセンターより講師をお招きし、燃料や電気使用量の削減に向けたセミナー「事業者のための知って得する省エネの進め方」講座を開きました。

【「リフォームプラン」、「カーライフプラン」の金利優遇】

エコ性能向上のためのリフォーム資金に対する融資金利、当金庫カードローン契約者でエコカー減税対象車の購入資金に対する融資金利を優遇しています。

【清掃活動】

信用金庫の日（6月15日）と当金庫創立記念日（10月3日）に店舗周辺の清掃活動を実施しています。また、「川と海のクリーン大作戦」（木曽川流域の清掃活動）にも参画しています。

【エコモビへの参加】

愛知県が推進する「エコモビリティライフ」に参加し、期間中は自家用車と公共交通、自転車、徒歩などの使い分けを実践します。

また、毎年12月第1水曜日の県内一斉「エコ通勤デー」では多くの職員が公共交通や自転車、徒歩で通勤します。



【クールビズ、ウォームビズの実施】

クールビズ、ウォームビズを実施しています。夏季28℃、冬季20℃に設定し、エネルギー使用量と温室効果ガスの削減を図っています。